百人一首大会（前期課程１年～３年）レポート

〇１年生から３年生のクラスの中のグループが同学年や異学年と対戦します。そして、勝利したポイントで優勝クラスを決めるクラス対抗です。

3年1組	対戦チーム	場所
1班	2年2組1班	C5
2班	1年3組2班	A3
3班	2年4組6班	E6
4班	3年4組10班	G6

・札を並べています。

・委員長の挨拶です。

・開会式で進行をしています。

〇読み手が札を読み、互いに札を取り合います。

〇読み手は、上の句を読み、下の句を２回読みます。

「来ぬ人をまつほの浦の夕なぎに
　焼くや藻塩の身もこがれつつ（権中納言定家）」

「焼くや藻塩の身もこがれつつ」

〇先生方は、旗をもって進行状況を把握します。

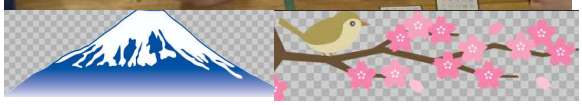
〇50枚ずつ置かれた札の無くなったグループの勝利です。

〇真ん中には、緑の線が引かれています。
〇近い側が自分たちの札、反対側が相手チームの札です。

●相手チームの札を取りました。

●自分たちの陣地から１枚相手の陣地に渡します

●自分たちの側の札も取っていきます。
徐々に徐々に枚数が少なくなっていきます。



★田子の浦にうち出でて見れば白妙の　富士の高嶺に雪は降りつつ　　山辺赤人
★花の色は移りにけりないたづらに　わが身世にふるながめせしまに　小野小町

○最後にお互いに１枚ずつ残ったら、大将同士の対決です

○日本文化を説明できる人になろう（閉会式：校長先生の話）

校長先生が、ニュージーランドに行ったとき日本料理を作ってくださいと頼まれた経験があります。外国で生活する機会に恵まれたとき、外国の方から頼まれることは日本の文化の内容です。百人一首は、その代表的なものです。他にも、歌や踊り、生活習慣など様々なことがあります。感性を豊かに日本文化を説明できる人になりましょう。